

・後日発行予定の「優秀事例集」で詳細な応募内容を一般の方へお知らせする予定です。そのため、「優秀事例集」発行後、受賞案件発表時の応募概要は削除させていただきます。

賞	件名	申請者	応募概要
理事長賞	尼崎市消防局における地域防災・省エネ強化の取り組み ～ 尼崎市防災センターのコージェネ導入事例 ～	<input type="checkbox"/> 大阪ガス株式会社 <input type="checkbox"/> 尼崎市消防局 <input type="checkbox"/> 尼崎市資産統括局	尼崎市消防局は、尼崎市・伊丹市消防指令センターを擁する両市の防災上の重要施設である。尼崎市と伊丹市約65万人の生命を守るため、日頃から防災活動を行っている。防災対応ユーティリティとして非常用ディーゼル発電機を所有しているが、更なる防災対策として、有事の際に指令拠点となる防災室、事務室の電源確保を目的に、ジェライト35kW×2台を導入。平時は都市ガスによる発電を行い、排熱は老朽化に伴い更新するジェネリンクと温水ボイラー系統に投入することで、省エネ、省CO2に貢献。有事の際はBOS機能によりジェネライトを再起動し、防災室、事務室の照明電源として活用する。また万が一の都市ガス停止に備えて、PAジェネレーターを設置。プロパンエア起動により48時間の確実な電源確保を実現した。大阪ガス管内の消防局及び尼崎市施設で初めて、補助金と緊急防災減災事業債を活用の上、2016年1月竣工、本格稼働を開始した。
優秀賞	沖縄県初のLNGサテライトを活用した環境性と防災機能を兼備した街づくり ～ イオンモール沖縄ライカムのコージェネ導入事例 ～	<input type="checkbox"/> イオンモール株式会社 <input type="checkbox"/> 北中城村 <input type="checkbox"/> 沖縄電力株式会社 <input type="checkbox"/> 株式会社OGCTS <input type="checkbox"/> 株式会社竹中工務店	●本プロジェクトは、沖縄県のアワセ基地返還跡地における、エネルギー供給者・エネルギーサービス事業者による大型商業施設へのエネルギーサービスを中心とした、防災と省CO2の強化を図る取り組みである。 ●当該エリアでは、沖縄県初となるLNGサテライトインフラを活用した熱源システムの構築により、非常時のエネルギー自立に対応した防災拠点の形成を図る他、エネルギー供給者側とエネルギー利用者側（商業施設、医療施設）に自治体（北中城村）も加わった省CO2推進協議会を整備することで、エリアで省CO2を推進する等、官民一体となった街づくりを行っている。 ●各種団体の見学者を約250名受け入れ、普及促進に寄与している。 [設備仕様] ・BCP対応ガスエンジン・コージェネ：400kW×2台（LNGサテライト供給、2015年6月供給開始） ※排熱利用先：排熱投入型吸収冷温水機（ジェネリンク）：500RT×1台
優秀賞	Zero CO2-Emissionを志向した都市型環境共生建築 ～ ヤンマー本社ビルへのコージェネ導入事例 ～	<input type="checkbox"/> ヤンマーエネルギーシステム株式会社 <input type="checkbox"/> 株式会社日建設計	ヤンマー株式会社は2012年に創立100周年を迎え、記念事業の一環として大阪市北区に新社屋を建設した。大阪梅田の中心部に立地する、地下2階、地上12階建て、延床面積約20,000m ² 、ヤンマーの本社機能と商業施設が入居する複合ビルである。特徴的な外観はアルミルーバーと壁面緑化で構成された外装であり、先進的かつエコロジカルなイメージを表現。Zero CO2-Emission Building（以降、ZEB）を志向し、中型コージェネレーション（400kW×1台）と排熱利用機器としてジェネリンク（350RT×2台）及びデシカント外調機（20,000m ³ /h）を導入、空調方式はGHPIによる個別空調と自然換気・放射空調併用ハイブリッド方式とした。また、廃食油由来のバイオディーゼルを燃料とするマイクロコージェネ（25kW×1台）を実証機として設置し、ヤンマー本社エリアにおけるCO2排出量について、通常ビルに対して55.0%以上削減を実現した。
優秀賞	設備更新によるエネルギーセキュリティ強化と熱融通を伴う排熱有効利用 ～ 市立伊丹病院のコージェネ更新事例 ～	<input type="checkbox"/> 市立伊丹病院 <input type="checkbox"/> 大阪ガス株式会社	市立伊丹病院は兵庫県伊丹市において地域の急性期医療を担う、救急指定病院です。通常時の診療環境維持はもちろんのこと、災害時には多数傷病者の受入れのため病院機能を維持する必要があります。また環境配慮の観点から電力負荷の平準化や低炭素化への取り組みが重要となっています。このたびガスコージェネレーション設備を高効率のものに更新し、発電出力も270kWから400kWへ増量しました。電力は病院施設全体に供給され、省エネ化ならびに電力負荷の平準化にも貢献しています。 排熱温水は中央監視設備による最適化を行い、ジェネリンク、貯湯タンクなどに段階的に投入するとともに、隣接する保育所給湯に面的利用し、利用率は100%を維持しています。熱融通を含めた本事業における取組は周辺行政では例がなく、複数の病院施設から視察に来て頂いております。災害時には自立運転発電機能により、重要な医療機器への電源供給が可能となり、電源エネルギーのセキュリティ強化に繋がるものと期待しています。
特別賞	コージェネ多重設置による電源セキュリティ確保と高効率運用システムの構築 ～ 原三信病院のコージェネ導入事例 ～	<input type="checkbox"/> 医療法人原三信病院 <input type="checkbox"/> 西部ガステクノソリューション株式会社 <input type="checkbox"/> 株式会社竹中工務店	<input type="checkbox"/> 導入背景 2011年3月に発生した東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故を受け、医療施設においては、地域住民の命を守る病院の使命として、災害時にも医療行為を継続する必要があった。当病院においても、非常時のBCP向上に加え、平常時のエネルギーの高効率運用を課題と考えMCGSの導入により改善を図った。 <input type="checkbox"/> 設置場所 原三信病院新東館 <input type="checkbox"/> 燃料 都市ガス13A 中圧導管 <input type="checkbox"/> コージェネ容量・台数 MCGS35kW×12台 <input type="checkbox"/> 廃熱利用用途 ジェネリンク250RT×2台、熱交換器280kW、給湯タフセーバー121kW×2台・貯湯槽2,000L×2基 <input type="checkbox"/> 導入時期 平成25年8月～平成26年8月 <input type="checkbox"/> 逆潮有無 無 <input type="checkbox"/> 特徴 ・時季によって変動する熱電需要に柔軟に対応すべく、電主+熱主切替システムを構築した。 ・導入スキームとして、ガスエネルギー受託サービス及び分散型電源導入促進事業費補助金を活用した。
特別賞	熱供給事業を活かした地域BCP強化と省エネの推進 ～ 恵比寿ガーデンプレイスのコージェネ更新事例 ～	<input type="checkbox"/> 株式会社東京エネルギーサービス	1994年にオープンした恵比寿ガーデンプレイスは、住宅、ホテル、オフィス、ショッピング、ミュージアム等の多様な施設群を擁する複合都市です。街全体の60%をオープンスペースとし、庭園都市（ガーデンシティ）と商業都市（マーケットプレイス）の融合はゆとりある空間を演出し、オープン以来人々に愛されてきました。 株式会社東京エネルギーサービスは、恵比寿ガーデンプレイスのグランドオープン当初から、環境にやさしい省エネ型の地域冷暖房事業による面的利用を推進しています。今回設備の更新時期を迎え、災害時の街の機能維持と環境性向上を目的として、コージェネレーションシステム（CGS）をガスタービンからガスエンジンに更新しました。CGSの廃熱は地域冷暖房の熱源として面的活用し省エネを推進。CGSの発電電力は、通常時はビル側に供給しますが、停電時には熱供給プラントへと供給先を切替え、熱供給を継続することで、テナントの事業継続や帰宅困難者対応を可能としています。 原動機：ガスエンジン 容量：930kW 2台（2016年1月稼働） 廃熱利用用途：冷房・暖房・給湯 燃料：都市ガス13A（中圧）